



社会教育便り

平成25年12月27日

文責 岡崎/威能

幡多地区小中学校PTA研究大会（宿毛市大会）

12月8日（日）、宿毛市にある宿毛文教センターで「幡多地区小中学校PTA研究大会」が行われました。今回は、6市町村から約220名が参加していました。個人表彰では、宿毛市立東中学校から増本治宣様が表彰されました。長年PTA活動にご尽力いただき、素晴らしい活動をされていることに対しまして感謝いたします。その後のアトラクションでは、片島中学校吹奏楽部と宿毛中学校・片島中学校空手部の発表がありました。



片島中学校吹奏楽部の演奏
部活を引退した3年生も加わり、「粉雪」などを演奏してくれました。

参観されたPTAの皆様から、中学生の演奏や演舞がすばらしかったという感想をいただきました。



宿毛中学校・片島中学校空手部の演舞
凛とした声、きびきびした動き、中学生の一生懸命さが伝わってきました。

西部教育事務所から全国学力・学習状況調査をもとに幡多の子どもの現状を伝えました。幡多の子どもの課題は、学習で得た知識や技能を実生活の様々な場面で活用する力です。これらを解決するためには、学校では、「わかる・楽しい授業にすること」、「家庭学習の充実をはかること」が大切です。家庭では、家庭学習習慣を身に付けさせたり、本に親しむ時間を作ることが大切です。各家庭でよろしくお願いします。

また、高知新聞社 塚地和久氏から「幡多っ子は元気！」と題して、ご講演いただきました。大人が子どもに積極的に関わり育てていく教育風土を作っていきましょうという内容でした。幡多の子の素敵な所をたくさんお話していただき、みんなが明日から頑張ろうと勇気のわく講演でした。塚地先生ありがとうございました。



最後に、黒潮町立上川口小学校、三原村立三原中学校、大月町立大月小学校のPTA会長の皆様が取組の紹介をしていただきました。今回の発表は「健全育成」でしたが、どの学校も地域に根ざした素晴らしい取組を発表していただきました。参観されたPTAの皆様にとって、参考にしていただける内容だったのではないのでしょうか。是非、明日からのPTA活動に活かしていただきたいと思えます。



職場体験で高知新聞社に来た中学生が、車いすの方の所に取材に行った時のこと。質問をする前に「これから嫌なことを聞くかもしれません。答えたくなかったら答えなくてもかまいません。」というように相手に対して心遣いができる中学生……。こんな子どもを育ててほしいという塚地さんのメッセージが心に響きました。